

御所湖の桜調べ

さくら園の桜調査をしました。昨年写真を撮っている人から、ここの桜の種類がわかるといいのですがと声をかけられ、その時には答えられませんでした。そこで今年の開花を待って桜調査を行いました。御所湖周辺に自生しているものは、ほとんどがカスミザクラのようです。ソメイヨシノが終わってから咲きだす花色の白っぽい桜です。イヌザクラやウワミズザクラも自生していますが、これらの花は穂状に咲くので、多くの人は桜だと思わないようです。さて、さくら園の桜の種類を調べるために公園台帳を紐解いたのですが、種類までははっきりと記載されていませんでした。今回の調査結果は、『さくら園桜マップ』として後日配布する予定です。来年以降のお花見にご利用いただきたいと思います。なお、自生種のカスミザクラの他に、‘ソメイヨシノ’ ‘オオヤマザクラ’ ‘ヤマザクラ’ ‘ヤエベニシダレ’ ‘センダイシダレ’ ‘ヤエザクラ・関山(かざん)’ ‘ヤエザクラ・普賢象(かづり)’ がありました。写真の桜は‘センダイシダレ’で、珍しい品種です。



5月14日に今年度最初の自然観察会を行いました。コースは集合場所の野菊公園から雫石駅に向かう湖岸沿いの散策路です。小雨模様のため、あいにく鳥の出現は少なかったのですが、終わりごろ雨が止むとともに小鳥の声も聴くことが出来ました。途中は山菜の話に盛り上がりました。これは食べられるけどあまり美味しくないとか、このように料理すると美味しいなど、講師の荒木田さんの体験に基づくお話がミニ料理教室になりました。タラの芽はすでに収穫されていましたが、他にもいろいろと食べられる植物を見つけることが出来ました。某タレントさんではありませんが、収穫した野草をてんぷらにして食するというイベントも面白いかもしれませんね

また、話をしながら歩いていると、何か視界を横切るものがいました。リスです。カラマツの木に登っていきます。途中でリスの頭蓋骨と思われる骨を見ていましたので、ちょっと複雑な気持ちです。この散策路では樹林内の野鳥だけでなく、湖岸側は下久保湿地となっており、水鳥も見られ、夏にはエゾミソハギやクサレダマなどの花が一面に咲き、楽しめるコースとなっております。



5月末から尾入野湿生植物園にカキツバタが咲きだします。6月中旬まで見ごろです。他にもいろいろな山野草が咲いており、6月1日には自然観察会もありますので、是非お出かけ下さい。